

## 次期愛知県スポーツ推進計画に係る事前照会について

## ＜審議会委員からの御意見等＞

## 【久田委員】

- 当社は、「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」、「大相撲名古屋場所」、「名古屋フィギュアスケートフェスティバル」、「中日少年野球大会」など、数多くのスポーツイベントや、地域のスポーツイベントなどに関わっているが、こうした事業は単にスポーツイベントにとどまらず、本地域の重要な資産と位置付けることができる。
- こうしたスポーツイベントを常に見直し、リブランディングを繰り返しながら、新たな価値の創出と魅力向上を図り、有機的に結び付けていくことで、地域のスポーツ文化の振興と発展に寄与してまいりたいと考えている。
- 本計画の推進と実行に当たっては、各取組において多くの方とご一緒する機会を得ながら、県民の皆様により一層スポーツの素晴らしさと無限の可能性を体感していただくとともに、報道機関としての役割も果たしながら、スポーツビジネスの領域の拡大にも貢献してまいりたいと考えている。

## 【松村委員】

- 運動・スポーツに興味を持ったとしても、実際にどこに行けば活動ができるのか分からない方や、周辺にどのような施設があるのかが分からない方も多いと思うため、実施は難しいかもしれないが、各地域における簡易マップのようなものがあれば、運動・スポーツへのアクセスが容易になるのではないかと。
- 「親子で楽しめるスポーツ機会の創出」に向けた取組は非常に重要であるが、各主体との連携のみならず、参加機会の提供方法を工夫していくことが重要である。また、親子といってもその年齢層は幅広いことを念頭に、取組を進めていく必要がある。

- 「学校体育・スポーツの充実」については、児童生徒が体育の授業や部活動、遊びなど学校生活の各場面で「楽しい」と感じながら運動・スポーツに取り組めるようにしていく必要がある。そのためには、子どもに“与える”だけの環境ではなく、子どもが進んで運動・スポーツに取り組めるような環境づくりの推進なども御検討いただきたい。
- 団体の意見も大事ではあるが、選手個人の人々の様々な意見も吸い上げることができるための環境の整備も必要ではないか。

## 【箕輪田委員】

- スポーツ実施率の向上に向けては、無関心層への働きかけが重要。東京 2020 大会以降、パラスポーツの注目度が高まってきていると感じるが、無関心層に対してどのようにアプローチするのか、今後の取組を期待したい。
- 「あいち健康マイレージ事業」については、誰もがスマホを持つ時代の中で、時宜に合う事業であると思う。多くの方が参加するよう、幅広く周知するとともに、参加の動機付けを高めるための工夫など、取組の充実を期待したい。
- これまで大会の運営は教員の貢献が大きかったが、学校部活動の地域移行により、教員の協力を得ることも難しくなると思う。そのため、大会を運営していくための人材の確保も求められる。
- 国体の総合成績では上位を維持するなど、愛知県は一定の競技力を維持できていると思うが、競技団体やアスリート、パラアスリートに対する補助など、さらなる支援の充実も大切。また、企業の協力を引き出すための働きかけも必要。最近ではアスリート・パラアスリートの受け皿となる企業も増えてきていると感じており、協力を引き出す余地はあると思う。
- 計画の推進に当たっては、計画に位置付けた数値目標の達成に向け、PDCA サイクルを活用するとともに、社会の変化に対応するため、必要に応じて計画の内容を変更するなど、柔軟な進行管理に努めていただきたい。